「マスクは個人の判断で」

先月、コクラン(Cochrane Library)がマスクの感染予防効果について最新のエビデンスを公開しました。コクランは医療上の意思決定に必要な良質なエビデンスの提供をめざす国際的なプロジェクトで、世界最高峰のエビデンスレベルのシステマティックレビューが閲覧できるデータベースです。そのコクランにコロナパンデミック中の11件を含む78件のRCT(ランダム化比較試験)を検証したシステマティックレビューが出され「統合したRCTの結果では、医療用/サージカルマスクの使用による呼吸器系ウイルス感染の明確な減少は示されなかった。呼吸器ウイルス感染を減らすために日常的なケアで使用した場合、医療従事者におけるN95/P2呼吸器と比較して、医療用/サージカルマスクの使用に明確な違いはなかった。」と結論付けました。つまり、マスクに感染予防効果を示す根拠はないと科学的に証明されたということです。これが世界基準。マスクを着け続ける日本は非科学的な国となりました。

政府は3月13日から「マスクの着用は個人の判断」としていますが、マスクには一定の感染予防効果が有るとし、基本的に着用を推奨する姿勢を崩してはいません。その根拠として分科会の尾身会長ら25人が連名で発表した「マスク着用の有効性に関する科学的知見」という文章を挙げています。その「科学的知見」とは有効と読み取れるような都合の良い論文だけをかき集めたもので、上述したコクランのシステマティックレビューは含まれていません。世界最高峰の科学的根拠を示したコクランレビューを無視して「科学的知見」などと語るとは、日本の科学

は地に落ちたと言わざるを得ません。そして、上記の「科学的見解」を出した 25 人がこれまで日本の感染対策を主導してきた者たちであり、その結果日本は感染者数世界一になっているという事実を忘れてはいけません。そういう自称専門家を政府が使い続ける限り、この国の公衆衛生はまともに機能することはないでしょう。

以上のことから政府や自称専門家の言葉を鵜呑 みにしても何も良い方向へは進みません。文字通 り「個人の判断」で、自分の意志で行動すること をお勧め致します。あなたは自由です。日本人は 自由です。忘れずに生きていきましょう。



古来よりマスクは奴隷の象徴でした。 を を 感染症の ために作られたもの ではありません。 これが事実です。